

## <設立趣旨>

地方創生戦略はあくまで市町村が書くべきである。地域の見つめ直しを自分たちでやろうという機運を作るべき。合併市町村の将来人口の推計だけでは見えてこない。旧市町村、集落、自治区、商店街の商圈、小中高の学校区等の人口推計を行うことにより、危機感を共有し、わがこととして捉えることが重要である。地域のダウンサイジング後の姿を書き、サステイナブルな人口構造の在り方を議論してはどうか。

“集落回帰”の処方箋はあるのではないか。こうした課題をみんなで考えて下から盛り上がり方式で計画を作れないものか。人口が回復した集落はある。奇跡の集落と言われるやねだん、池谷集落、神子原集落などである。こうした人口増加した集落、限界集落を脱した集落の事例研究を進めたらどうだろうか。

国は、自治体が総合戦略を策定する際に、住民のほか、企業や大学、金融機関などの関係者から幅広く意見を取り入れるよう求めている。しかし、小規模な市町村には、外部の適切な人材を集めるのが難しい団体もあると考えられる。

自治体が国から2015年度内に策定が求められている地方版総合戦略づくりを支援するためこれまで様々な実績を残してきた地域再生マネージャー（ふるさと財団）、地域活性化伝道師、地域力創造アドバイザー、地域おこし協力隊卒業生でその後地域に定住し地域貢献を行っている移住・定住者、食の6次産業化プロデューサーレベル4（国家検定資格）資格取得者等を中心にゆるやかなコンソーシアムを結成する。人口、農業・6次産業化、水産業、林業、商店街活性化、廃校利活用、観光、環境・エネルギー、教育、福祉、定住、女性等の各分野のネットワークの形成が目的である。

私たちは、それぞれのケースに応じて自治体に対して具体策を示したり、必要に応じて呼びかけ合ったりする、いわばチームのようなものを想定している。今回の地方創生戦略では地域の実情を反映した問題解決が求められる。戦略策定に向け多くの情報を共有しながら手作りしてゆく必要がある。地方の小さなコンサルタント会社がコンソーシアムに参加しているが、こうした小さな会社に対して“後ろ盾”となれるような存在としても機能したい。

## <構成メンバー概要>

### ○地域再生マネージャー

2003年に総務省が創設。過去10年各専門家が情報共有を図り研鑽を重ね、数々の成功事例を生み出すなどの高い評価をあげてきた専門家集団。横断的な計画策定に対応できる。

### ○地域活性化伝道師

内閣府が地域おこしのスペシャリストとして8つの分野に分けて323名を登録。地域の成長力強化、雇用創出に資する人材の強化を切れ目なく支援する。

#### ○地域力創造アドバイザー

総務省が地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する民間専門家や先進市町村で活躍している職員を「外部専門家」として登録。地域独自の魅力や価値の向上の取組を支援する。

#### ○地域おこし協力隊

2009 年度に総務省が創設。都市地域から条件不利地域等に移住し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行う。任期終了者は、各分野における移住・定住に向けてのアドバイスを行うことができる。

#### ○食の6次産業化プロデューサー

6次産業化により新たなビジネスを創出する人材。レベル4はプロレベルとして、異業種横断的なプロジェクトの組成・管理に対応できる。国家認定制度のひとつ。

### <創生戦略策定で行うこと>

- 自治体や地域主導の地方創生戦略セミナー・講演会・勉強会の開催
- 地域を見つめ直すための作業、専門家の招聘や受け入れ
- 地方の実情を知った小さなコンサルタント等の後方支援

氏名

発起人

斉藤俊幸（人口、6次産業化、教育）

中島淳（まちづくり、定住）

専門家（アイウエオ順）

畦地履正	産業、四万十ドラマ、高知県
荒井弘正	海外販路
石川紀子	農業、6次産業化
井筒耕平	エネルギー、岡山県
井上弘司	廃校利活用、観光、長野県
上村章文	ふるさと財団事務局長
大和田順子	市農村交流／CSR・CSV
奥村玄	まちづくり、景観形成
鎌田秋吉	食の6次産業化プロデューサーレベル4、愛媛県
亀山初美	食の6次産業化プロデューサーレベル4、香川県
河瀬悟郎	観光、北海道
管野剛	産業振興
小島慶蔵	国際的な6次産業化、観光、熊本県
小島健一	インフラ維持管理
後藤健市	総合戦略、北海道
小林詳子	観光、女性
小松正範	食・エネルギー・ケア、滋賀県
斉藤俊幸	人口、6次産業化、教育
椎川 忍	地域活性化センター理事長
篠崎宏	観光
清水慎一	総合戦略、観光
関幸子	総合政策
千田良仁	人口、定住
高橋一夫	観光・近畿大学経営学部教授、大阪府
多田朋孔	定住、十日町市地域おこし実行委員会、新潟県
谷本互	6次産業化
塚田佳満	まちづくり
峠篤士	食の6次産業化プロデューサーレベル4、高知県
富田敏	定住、愛媛県
中島淳	まちづくり、定住
中田浩康	体験観光
那須清吾	高知工科大学教授

鍋島悠弥	定住、愛媛県
西村俊昭	食・エネルギー・ケア、滋賀県
丹羽健司	林業、岐阜県
長谷川潤一	食の6次産業化プロデューサー団体代表理事
原田弘子	商店街
藤井裕也	定住、岡山県
藤岡慎二	教育、隠岐島前高校教育ディレクター
前川進介	教育、環境、兵庫県
前神有里	地域活性化センター
牧大介	林業、岡山県
松田恭子	食の6次産業化プロデューサーレベル4
松本謙	食の6次産業化プロデューサーレベル4、栃木県
三上亨	エネルギー、青森県
目黒義和	地域力創造
安永啓彦	6次産業化、愛媛県
吉野奈保子	林業・環境エネルギー、教育
漁師明	食農福祉連携
若尾健太郎	食農福祉連携
渡邊洋一	食と農と福祉、教育

事務局

斉藤俊幸 (t-saito@zofrex.co.jp)